

## 高槻市野球連盟 野球大会規程

1. 本大会は、当該年度公認野球規則、並びに全日本軟式野球連盟規程により行う。
2. 大会は毎日曜日、祝日に行う。
3. チームは次のものとする。

### (一般の部)

市内及び隣接府県に居住、勤務、または通学する者のみによって編成するチーム。尚、隣接府県居住者の登録は、全登録者の1/3以内とする。

### (壮年の部)

「一般の部」の条件に加えて、その大会の抽選会時点で満40歳以上の者で構成されたチーム。いずれも、監督を含む選手9名以上25名以内で編成しなければならない。

4. 同一の監督が2チーム以上の監督を兼ねることはできない。選手は1名1チームしか登録できない。但し、「壮年の部」選手を「一般の部」選手に二重に登録することは認める。
5. 大会でベンチに入れる人員は、監督(背番号30番)、主将(10番)を含む選手(0~99番)25名以内と、選手として登録しないチーム代表者、マネージャー、スコアラー、トレーナー(有資格者)各1名とする。  
尚、選手が9名の場合は、選手以外のメンバー1名(18歳以上、ユニフォーム着用は問わないが運動するにふさわしい服装)を必ずベンチに入れること。
6. チームは試合開始60分前までに球場に到着し、直ちに大会本部に到着の旨を報告すること。  
試合開始予定時刻に到着しないチーム、または選手が9名に満たないチームは棄権扱いとする。ベンチは、組み合わせ番号の若い方を一塁側とする。
7. 打順表は、開始予定時刻の30分前までに監督が大会本部に提出し、球審立ち合いのもと攻守を決定する。次の試合の先発バッテリーは、攻守決定後、競技場内のブルペンを使用することができる。
8. A級リーグ戦、A・B級トーナメント戦、壮年の部とも、試合は7回戦とするが、暗黒、降雨などでイニングが進まない場合、5回を終了すれば試合は成立する。  
但し、5回終了前であっても試合開始後1時間25分経過した場合は、新しいイニングに入らない。均等回完了をもって試合を決する。
9. 7回戦あるいは1時間25分を経過しても勝敗を決しないときは、A・B級トーナメント戦、壮年の部においては抽選にて勝敗を決する。  
4回以降10点差、5回以降7点差がついた場合、コールドゲームを適用する。
10. 優勝戦に限り、時間制を優先しコールドゲームは採用しない。勝敗の決しないときは、タイブレーク方式を取り入れる。継続打順で前回の最終打者を一塁走者、その前の打者

## 高槻市野球連盟 野球大会規程

を二塁走者とする。すなわち、0 アウト一塁・二塁の状態にして、1 イニングまで行う。  
それでも勝敗が決しない場合は、抽選にて勝敗を決する。

11. 本大会においては、指名打者ルールを使用することができる。
12. 抗議権を有する者は、監督か当該プレーヤーのいずれか 1 名とする。
13. 原則として、
  - A 級リーグ戦績 5 位、6 位チームは、次回大会にて A 級に降格する。
  - A 級優勝、準優勝チームは、次回大会にて A 級リーグ戦に昇格する。
  - B 級優勝、準優勝チームは、次回大会にて A 級に昇格する。
14. A 級リーグ戦の順位決定において、複数チームが同率の場合は、当該対戦の勝者、及び得失点に基づき決定する。
15. 再試合についての日時、球場は「高槻市野球連盟」ホームページへの掲示を通じて伝達する。尚、日程その他、やむを得ない理由のため再試合不能と認められた時は抽選により勝敗を決定する場合がある。
16. 試合が開始されたら、控え選手はむやみにベンチから出てはならない。投手の準備投球にあわせて素振りすることを禁止する。
17. 試合に出場する捕手は、安全のためプロテクター、レガース、マスク(スロートガード付)、捕手用ヘルメット、ファウルカップを着用のこと。  
打者、次打者、走者及びベースコーチは、必ずヘルメットを着用のこと。  
スパイクの色は、全員同色でなくても構わない。  
サングラスは、大会本部の承認なしに使用できる。但し、投手はミラーレンズサングラスの使用はできない。また、野手がサングラスを帽子の庇の上に乗せることを認める。  
アンダーシャツの外から見える部分は、同一チームの各プレーヤー全員が同じ色でなければならない。  
アームスリーブについて、野手は色の規制はなく片袖のみの着用でも可。投手は、アンダーシャツと同色で、両袖着用とする。
18. 監督主将会議での抽選後の試合日程は、「高槻市野球連盟」ホームページの掲示内容を参照のこと。

平成 28 年 9 月	一部改正
平成 29 年 1 月	一部改正
令和 6 年 8 月	一部改正
令和 7 年 1 月	一部改正